

## 平成29年度 富山県担い手育成ほ場整備研修会

富山県構造改革推進ほ場整備研究会(会長 長原一夫 大門町土地改良区理事長)では、平成30年2月21日、富山県民共生センター サンフォルテにおいて「平成29年度富山県担い手育成ほ場整備研修会」を富山県農村整備課との共催で開催し、県内の土地改良区・担い手農家・営農組織・県関係者ら237名が参加されました。最初に長原会長の開会挨拶と、富山県富山農林振興センター大橋所長から挨拶があり、その後研修に入りました。



研修内容は次のとおりです。

### 1. 土地改良法の29改正と今後の改正方針

北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 菅原 安美智 氏

平成29年度に一部改正された土地改良法について、中間管理機構関連事業を中心にその目的から事業内容・要件など、また地元同意の点から換地に関わる留意点などについて話しされ、次に今国会で審議予定の土地改良制度の見直しに関して、組合員資格や総代会の見直し、員外監事と複式簿記の導入についてなど、その意義と対応方針について講演された。組合員資格については、地域の実態を背景とした参加者から再確認の質問が出されるなど関心の高さが伺えた。

### 2. やる気！元気！新たな立山農業の創造に向けた挑戦

富山県 富山農林振興センター 農業普及課 立山班長 宝田 研 氏

現状の営農に危機感を抱いた地区に対し、普及関係者のコーディネートの下、行政やJAなどとの連携により、稲作の品質向上のみならず、稲作期間以外の労働の確保と収益を上げるための積極的な取組みを紹介された。また、販売戦略を継続的に進めることで町の特産品としての地位の確立に努めるなど、関係者の連携と協力が活かされた事例であった。

### 3. 水稻新品種「富富富」の挑戦

富山県 農林水産総合技術センター 農業研究所 育種課長 小島 洋一郎 氏

コシヒカリに代わる富山県産米新品種開発の目的や開発経緯について、また、気候や病虫害に対する耐性、お米としての美味しさなど品質の確保等々、富富富の特徴が紹介された。品質の確保については、栽培技術でもカバーでき、引続き検証も行われる予定であるが、平成30年秋から本格的な流通を行う予定としており期待される。